

令和6年度 第2回 焼津市地域公共交通大井川分科会 会議録		開 催	日時 令和6年8月7日(水) 午前10時00分～10時50分
			場所 焼津市役所大井川庁舎3階大会議室
議題	・大井川地区再編について		
出席委員 9名	(公共交通大井川分科会) 会 長 白石 雅治 (焼津市) 委 員 市川 真也 (しずてつジャストライン(株)) 委 員 小泉 明裕 (静岡県タクシー協会志太榛原支部) 委 員 白石 睦美 (焼津市自治会連合会 中島自治会長) 委 員 山名 競 (焼津市自治会連合会 大井川東自治会長) 委 員 原川 光世 (焼津市民生委員児童委員協議会 大井川南地区) 委 員 井鍋 眞澄 (焼津市民生委員児童委員協議会 大井川東地区) 委 員 滝井 不二夫 (焼津市民生委員児童委員協議会 大井川西地区) 委 員 小澤 大輔 (大井川商工会 副会長)		
欠席委員	委 員 川村 道弘 (焼津市自治会連合会 相川自治会長) 委 員 五十右 直 (焼津市社会福祉協議会)		
議事内容			
大井川分科会で、くるりん号の運行改善策についての提案内容及び意見を、8月23日開催の地域公共交通会議で報告することの了承を得た。			
会議の成立	委員総数11名の内、9名が出席。過半数を超えているため会議は成立する。		
議題	<p>(1) 令和6年度第1四半期 市内バス路線の利用状況について</p> <p>(2) 令和6年度第1四半期 くるりん号の利用状況について</p> <p>(3) 焼津市地域公共交通計画の策定について</p> <p>(4) 大井川地区で実施した利用促進策について</p> <p>(5) くるりん号の運行改善策について</p> <p>事務局説明</p> <p>(1) 令和6年度第1四半期 市内バス路線の利用状況について</p> <p>(2) 令和6年度第1四半期 くるりん号の利用状況について</p> <p>*資料：【説明資料】P2～P10</p> <p>【質問・説明等】</p> <p>○小泉委員：大井川焼津線の利用者が増えている。この多くは市立病院に行く人ではないかと推察するが、分析のほどは如何か。</p> <p>⇒事務局：4～6月の3カ月間のデータであるため、詳細については今後OD調査(乗降調査)をして分析していきたい。推測になるが、昨年8月に実施した大井川焼津線の経路短縮による利用者の増加や、くるりん号から乗り継いで市立病院へ行くというのが浸透してきているものと考えている。</p>		

○小泉委員：くるりん号の利用者数は、7月からの猛暑の影響で増えている。以前より保育園の送迎で頻繁に利用してくれている方の予約が増えたことで、7月の利用者増に繋がっている。

また、去年は「グランリバー南」停留所の利用が多かったが、新規停留所を追加してからは、「ケーヨーD2 前」「おおいがわ薬局前」が利用されている。

予約時に目的地や帰りの便のことも伺うようにしているので、例えば通院の後にグランリバーで買い物をする場合、行きは「おおいがわ薬局前」、帰りは「ケーヨーD2 前」といったように、用途に合わせ停留所を案内している。

⇒会長：くるりん号の試験運行開始当初から、電話での予約を重要視してきた。これは、高齢者の多くが電話で人と話す機会を大切にしているため、その面でも、小泉タクシー様には非常に良いコミュニケーションをとっていただいていると考えている。

(3) 焼津市地域公共交通計画の策定について

事務局説明

*資料：【説明資料】 P11～P12

【質問・説明等】なし

(4) 大井川地区で実施した利用促進策について

(5) くるりん号の運行改善策について

事務局説明

*資料：【説明資料】 P13～P23

○小泉委員：停留所の追加について、開業医は運行当初から要望があり、順次追加してきたため、今回も追加の提案をさせてもらった。ほかには、住宅地で周囲に停留所が無い場所や、セントラルタウン近くの学習塾を追加することで、新たな需要を見込める可能性がある。

また、大井川地区で利用者の多いK Oマートを停留所にすれば、多くの方が利用すると考える。

○滝井委員：今はキャッシュレス過渡期だと考える。高齢者は現金の方がいいという人が多いと思うが、くるりん号もキャッシュレス化を考えているか。

⇒事務局：今の利用者の状況では、現金のみでも不都合は無いと思われるが、今後の事を考えるとキャッシュレス化も検討していきたいと考えている。

○滝井委員：ミニデイサービスなどで、参加するとポイントがたまる仕組みを取り入

	<p>れているところもある。高齢者を家の外へ出すために、なにかをもらえるような制度を考えてみてはどうか。</p> <p>⇒事務局：利用促進策として、参考にさせていただく。まずは、今回提案した回数券による利用拡大を考えている。</p> <p>○山名委員：大井川南地区には外国人が多く、主に自転車で移動しており、マイカーを持っている人は少ないと思う。利用者の中に外国人はいるか、また外国人向けに呼び掛けはしているか。</p> <p>⇒事務局：外国の方の実利用者は7～8名で、保育園の送迎などの利用が見られる。運行当初に数か国語で案内チラシを作成し、PRを行っている。</p> <p>○小澤委員：夢のような自動運転の話よりも、身近なデマンドタクシーの方が大事であり、本当にさまざまな啓発や改善策を実施していると思う。これを市民に知ってもらわなければ勿体無い。焼津市はLINEクーポンなどが好評で、焼津市公式LINEの利用者が多い。こういった焼津市のデジタルコンテンツを活用していったらいい。</p> <p>⇒事務局：焼津市公式LINEの登録者数は全国的にも多いものと認識している。様々な活用方法を検討して参りたい。</p> <p>○井鍋委員：利用者の事を考えて色々な改善をしており、本当に利用しやすくなってありがたいと思う。もっとPRして、市民に周知を図ってほしい。</p> <p>⇒事務局：効果的なPR方法を検討していきたい。今後とも、皆様の知恵を貸していただくなど、お力添えをお願いしたい。</p>
閉会	予定していた議事が終了。